学校番号	1202

令和８年度　家庭科

教科	専・家庭	科目	（学）生活デザイン演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表　2025（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習中心で、基礎的な表現の技術と衣食住分野の学習を行う。
・作品制作を行い、研究の成果を発表させる。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・生活産業分野に属する衣食住分野のおもにデザインに関する知識と技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・生活を改善していくための問題解決の能力や実践力を身につける。
【学びに向かう力、表現力等】
・よりよい豊かな生活を彩るよう工夫し、自発的、創造的な学習態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	衣食住に関わる生活を豊かにさせる知識と実践力を総合的に身につけている。	生活者としての視点から自ら工夫し、生活の向上をめざそうとしている。	生活者としての視点から社会を観察し、課題意識を高め、意欲的に問題解決を行う姿勢。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期 二学期 三学期	衣食住にかかわる実習	・生活にアートを取り入れ、小物などのデコレーションを行う。 (手縫い、ミシン、かぎ針などを用いた作品制作)	a:衣食住に関わる生活雑貨の制作実習で材料を扱う上での知識と技術を身につけている。 b:衣食住に関わる生活雑貨の制作実習で身の回りを彩り、生活を豊かにできるように用途を考え、工夫できる。 c:制作実習に意欲的に取り組み、行動できている。	・授業プリント ・小テスト ・観察	・授業プリント ・小テスト ・作品	・観察 ・課題作成

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度